

届出保育施設立入調査結果(作成日 令和7年4月17日)

施設名	福永保育園
設置者、設置者法人番号	福永 明美
立入調査実施日	令和7年2月27日

指摘事項

指摘内容	改善状況
安全計画について	改善済
救命処置の訓練について	改善済

● 指導監督基準を満たしていないが、比較的軽微な事項

指摘内容	改善状況
サービス利用者に対する契約内容の書面による交付について	改善済

秘密保持について	秘密保持について以下の措置が確認できなかったため、対応すること。 ・管理者、職員（離職含む）は、正当な理由がなく、業務上知り得た子ども等の秘密を漏らしてはならないため、秘密保持のための措置として、職員から個人情報の保護に関する誓約書等の提出を受ける等、必要な措置を講じること。 ・小学校等他の機関に子どもに関する情報を提供する際には、あらかじめ文書により保護者の同意を得ること。	改善済
消火用具の点検について	消火用具（消火器）の点検について、総合点検、消防署への報告及び機器点検を年に1回実施しており、6か月ごとの機器点検を確認できなかった。法令上、6か月ごとの機器点検が必要なため、適切に点検を行い、記録すること。	改善済
安全・衛生管理について	施設内巡回時に確認された以下の点について、安全・衛生上の点からそれぞれ改善策を講じること。 ・0、1歳児保育室内の棚の上に絵本及び木製の玩具等の重量物を置いていた。地震等より落下する危険性があるため、落下防止策を検討し、重量物や鋭利な物を保管しない等の安全策を講じること。 ・3、4歳児保育室内の換気扇、各保育室内の天井等（特に5歳児保育室内）に埃等が溜まっている箇所が散見された。定期的に点検及び清掃を行い、清潔に保つようにすること。	改善済
感染症罹患後の再登園について	感染症罹患後の再登園にあたり、保護者の口頭申出により確認していたが、その申出に係る記録をしていなかった。「医師から登園可能であることを保護者が確認している」旨の書面（登園届）の提出を保護者から受ける、又はその旨の記録をしておくこと。	改善済
事故発生防止について	事故発生防止について、以下の点を改善すること。 ・事故（軽微なものを含む）として扱うべきものをヒヤリ・ハットの記録として管理しているものがある。実際に傷を負った等は事故記録とし、事故には至らなかったが、事故になる可能性があったものや危険と感じたときはヒヤリ・ハット記録を残し、事故の未然防止や今後の分析に役立てること。 ・事故（軽微な事故を含む）が発生した場合における事故の状況及び事故に際して採った処置の記録が整備されていなかった。事故記録の整備を行い、事故発生時には当該記録を作成すること。また、ヒヤリ・ハット記録とともに検討・分析による事故の発生防止、事故防止対策の周知徹底を行うこと。 ・令和5年度以降ヒヤリ・ハット及び事故（軽微な事故を含む）の件数が1件であり、園の規模から見てヒヤリ・ハットの件数が低調であった。日々の保育の中で事故に至る前、あるいは事故に繋がるおそれがあることなど、様々な気づきが重要であり、事故の未然防止に役立てるために、職員への意識づけをしてヒヤリ・ハットの捕捉に努めること。	改善済